



# 青山学院

AOYAMAGAKUIN

## ニュースリリース

NEWS RELEASE

2008年3月21日

報道機関各位

### 青山学院の「ベリーホール」(1931年)、「間島記念館」(1929年)が 国登録有形文化財(建造物)に登録されました。

学校法人青山学院(東京都渋谷区渋谷4-4-25 理事長 松澤 建)において、青山キャンパスの建築物の「青山学院ベリーホール」および「青山学院間島記念館」が国登録有形文化財(建造物)に登録されました。

この二つの建造物は、「意匠的にすぐれた近代洋風建築であり、保存状態が極めて良好である」との評価を受けて、3月21日(金)に開催された文化庁文化審議会において登録が決定しました。青山学院の建築物としては、初めての国登録有形文化財となります。

#### 「青山学院ベリーホール」

1931(昭和6)年、神学部校舎として建築されました。現在は本部棟として利用されています。

「ベリーホール」は、1905年から1931年まで神学部で教鞭をとり、神学部長になられたA・D・ベリー先生が、関東大震災で倒壊した青山学院の校舎復興のための募金活動に尽力されたため、後年、校舎建築に貢献された功績をたたえて、「ベリーホール」と命名されました。

「ベリーホール」内には、チャールズ・オスカー・ミラー夫人の遺志による寄付金で建設された「チャールズ・オスカー・ミラー記念礼拝堂」があり、講壇の横には、現役で活躍するパイプオルガンとしては、日本最古ともいえる1932(昭和7)年ドイツ・ヴァルカー社製のパイプオルガンが備えられています。また、この礼拝堂は「学生時代」の歌の中で、「薫の絡まるチャペル」として謳われています。

#### 【構造】

鉄筋コンクリート造3階建(一部平屋建) 地階・屋上を有する。正面左手側が礼拝堂であるが、左右対称の構成とするため右手部分も平屋建とした。ゴシックを基調とした厳格な左右対称の建築物である。



青山学院ベリーホール



チャールズ・オスカー・ミラー記念礼拝堂

#### 「青山学院間島記念館」

1929(昭和4)年に図書館として建設されました。関東大震災後の校舎復興を機に、中央図書館を新築することになり、校友会会長であり理事であった間島弟彦氏がその資金の寄付を申し出られ、死後に愛子夫人がその遺志を継いで建設されました。

#### 【構造】

正面にコリント式の円柱を連ね、それが高い基壇をなす一階部分に載る姿は古代ローマ神殿を思わせるところがあり、本格的な古典主義的構成を持つ建築物である。

青山学院は今年で創立134年を迎えます。幼稚園から大学、大学院までを擁する総合学園です。青山学院ウェブサイト<http://www.aoyamagakuin.jp/>



青山学院間島記念館